

石垣市 熱中症事故防止ガイドライン

学校管理下における熱中症事故を未然に防ぐために、職員会議等における共通確認や部活動顧問等との打ち合わせを行い、以下の重点事項の内容を確認するとともに、熱中症事故防止に向けた対策を的確に講じることができるよう努めます。



区分	児童生徒	教職員・活動担当者
活動前	<ul style="list-style-type: none"> ① 食事や睡眠、自身の健康状態(発熱・疲労・下痢など)を把握し、体調不良の場合は担当の先生方へ知らせましょう。 ② 水筒など水分補給の準備をして活動に入るようにしましょう。 ③ 屋外での活動では積極的に帽子を使用し、日光が直接当たることを防ぎましょう。 ④ 体育の授業や、部活動等においては、マスクの着用は必要ありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 各家庭と連携し、児童生徒の当日の体調を把握すると共に、運動技能や体力の実態に配慮した指導(活動)計画を作成します。 ② 暑熱順化(体が次第に暑さに慣れて暑さに強くなること)を推進し、暑さに負けない体づくりをします。 ③ 熱中症発生時の連絡体制を事前に確認しておきます。 ④ 活動当日の「暑さ指数(WBGT)」を確認し、活動時間や場所などの内容について配慮します。
活動中	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 活動中の服装は、熱が体にこもらない工夫をしましょう。 ⑥ 担当の先生方の指示に従い、積極的に水分を補給しましょう。 ⑦ 体調が悪くなった場合は、無理せず担当の先生や、周りの友達に伝えましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 屋外では日陰などの休憩の場を確保し、屋内では窓を開放して風通しをよくします。 ⑥ 児童生徒の健康状態の把握し、適宜水分補給・休憩を取り入れるようにします。 ⑦ 児童生徒が、心身に不調を感じたら申し出て休むよう習慣づけ、無理をさせないようにします。
活動後	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 涼しい場所で休息し、水分補給をしましょう。 ⑨ 活動後の体調の変化に留意し、体調が悪くなった場合は、担当の先生や保護者、友達に知らせましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 確実な休息と水分補給を指示します。 ⑨ 体調が悪くなった場合の連絡方法を指示しておきます。
事故発生時	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 涼しい、安全な場所に移動しましょう。 ⑪ 担当の先生方の指示に従いましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 迅速かつ的確に指示をするとともに、応急措置を講じます。また状況に応じて救急車を要請します。 ⑪ 校内(養護教諭や管理職等)、医療機関及び保護者へ迅速に連絡し、その後教育委員会へ報告する。